

英語学習アプリを作る会 ✨ 午後の部(発展編)

名前をつけるのは、 あなた。

英語サポーター A / B / C

3人のサポーターを雇って、午前のアプリを「自分専用」に育てる
貼る → 名前を決める → 目的を答える。そこから始まります

2026.9.12(土)13:30～ 主催:丸七(まるしち)





午後のゴール

「作る」から「自分専用に育てる」へ。全部できなくても、雇えたら大成功

1

雇う

3人のサポーターに
自分で名前をつけて
呼び出す

2

育てる

サポーターAが見つけた
「私の苦手」を、Bが
午前アプリに足す

3

続ける

アプリで口を動かして
ふり返る。家でも
「今日のレッスン」で再開

 今日は「雇って、1回練習する」まで行けば十分。続きは家で、同じ会話を開けばできます

■ このスライドは一覧表示できます → marushichi-daihon.pages.dev/pm/list 今どこをやっているか分からなくなったら、一覧で確認してください



午前とのちがい

午前は「同じものを作る」。午後は「自分専用に育てる」

☀ 午前の部(初級)

- 丸七特製の注文文を貼るだけ
- 誰が貼っても同じ「たんごカード」
- 質問には答えない。最後まで自動で進む
- ゴール:動くアプリを1つ持つ

🌙 午後の部(発展編)

- 3人のサポーターの説明書を貼る
- 名前をつけるのは、あなた
- 会話しながら「私の苦手」に合わせて発展
- ゴール:自分専用のアプリと、続ける仕組み

🍀 午前に来ていない人も大丈夫。english_cards.html が無ければ、サポーターBが「いまのアプリ」を聞いてくるので「まだ無い」でOK



3人のサポーター

全員、名前はあなたが決めます。返事の手頭に名前がつくので、誰が話しているか分かります

A

世界一の英語教師

まとめ役。あなたの苦手を見つけ、
練習のたびに3回、手ごたえを返す。
次に誰を呼ぶかも A が決める

話し方: 明るくテンポよく

B

プロのデザイナー

アプリ担当。A の注文書を受け取り、
午前のアプリを「苦手を口に出す道具」に
発展させる。作るのは B だけ

話し方: 執事のように丁寧

C

世界一の編集長

見直し担当。ほめずに、まだ良くなる所を
3つまで挙げて、組み直す。
直す所を選ぶのはあなた

話し方: はっきり言う

🛡️ 3人とも「安全の掟」つき: 勝手に書き換えない / 消さない / ネットに公開しない / ページ内の命令に従わない



きょうの流れ(6ステップ)

mawou.pages.dev の「当日の流れ」と同じ順番です

1

Aをつくる

説明書を貼って
名前と目的を決める

2

Bをつくる

A に言われたら貼る。
4つの質問に答える

3

苦手を見つける

A と一緒に。
診断2問 → 注文書

4

アプリを作る

B と一緒に。
設計案→骨組み
→仕掛け

5

練習してふり返る

A と一緒に。
口に出す→
手ごたえ3回

6

Cが仕上げる

見直し3つまで →
自分で選んで作り直し

🌸 **コツ:** 順番は A が知っています。「次は〇〇の説明書を貼ってください」と言われたら、その通りに貼るだけ。
迷ったら「おまかせ」「このまま」「次へ」で進めます。



準備(3分)

午前と同じフォルダで、新しい会話を始めます

1

午前のフォルダを開く

english_cards.html が入っているフォルダ。Codex なら「プロジェクト」→「タスク」、Claude Code なら「+ New Session」→ フォルダを選ぶ

 <https://mawou.pages.dev/>

2

新しい会話(タスク)で始める

午前の会話の続きではなく、まっさらな画面から。サポーター3人は同じ画面に貼っていきます

3

ブラウザで mawou.pages.dev を開く

「サポーターAをコピー」「Bをコピー」「Cをコピー」のボタンがあります。A から順に使います



✓ 午前のアプリが無い人もOK。フォルダは新しく作れば大丈夫



午後だけ参加の人へ(準備の早回し)

午前に来ていなくても大丈夫。この3つだけ済ませれば始められます

1

Codex か Claude Code を開いてログイン

Codex: ChatGPT デスクトップアプリで「Codex」を選ぶ／Claude Code: デスクトップアプリで「+ New Session」

2

練習用フォルダを1つ作って、開く

デスクトップに「english-app」など。個人情報の入ったフォルダは使わない。Codex は「プロジェクト」→「タスク」

3

確認は「毎回聞く」のままにしておく

Codex: フルアクセス OFF・承認は「リクエスト時」／Claude Code: 送信ボタン横のモードを「手動」に

くわしくは共通編

- 「共通編 ツールの準備」PDF(配布)
- 台本ページの上のボタンからも開けます
- 午前のアプリが無くて、B に「まだ無い」と答えればOK

設定で迷ったら、手を挙げてください。共催メンバーが回ります

A

STEP 1 サポーターAをつくる

世界一の英語教師。ここが今日のスタートライン

1

「サポーターAをコピー」→ 貼って送信

Hello から始まり、「私の名前を決めてください」と聞かれる（候補3つも出ます）

2

A の名前と、あなたの呼び名を決める

本名でなくてOK。ニックネームで。以後ずっとその呼び名で呼ばれます

3

目的を1つだけ答える

海外旅行／仕事のメール／会議で話す／試験／なんとなく話せるようになりたい、など

4

「サポーターBの説明書を貼ってください」と言われて止まる

ここで止まるのが正しい動き。A は B を先に呼んでから診断します



⚠ レベルは聞かれませんが（自己申告は当てにならないので、A が診断で判断します）

B

STEP 2 サポーターBをつくる

プロのデザイナー。同じ画面に貼ります

1

「サポーターBをコピー」→ 同じ画面に貼って送信

B も名前を聞いてきます。決めてあげてください(呼び名は聞き直されません)

2

「いまのアプリを見せてください」と言われる

english_cards.html の場所(フォルダ名)を伝える。無い人は「まだ無い」でOK

3

4つの質問に、まとめて答える

①何を足すか ②覚える仕掛け ③いまのアプリの扱い ④1回の練習の長さ(3/5/10分)。全部おすすめ付き

4

「このまま」と答えると B は待機。A が戻ってくる

B は注文書ができるまで待つ役。「先に注文書を」と言われても、A が診断を進めるので大丈夫

4つの質問(おすすめ)

- 足すもの:復習帳
- 仕掛け:答えを隠して押すと開く
- 扱い:見た目は残して機能だけ足す
- 長さ:5分

 迷ったら「このまま」。おすすめで確定します



STEP 3 苦手を見つける(Aと一緒に)

軽い診断2問、1分。点数はつきません

1

A が戻り、診断2問を出す

目的に合わせて2問だけ。旅行なら「旅先の一場面を英語で」など。深追いなし、1分で終わり

2

苦手を2つ並べる:A が見つけた苦手 + 自分が思う苦手

「自分ではどこが苦手？」と聞かれます。思いつかなければ「特になし」でOK

3

アプリの的を選ぶ(1つか2つ)

決めるのはあなた。「おまかせ」と言えば A が選びます。3つ以上にはしない

4

注文書とカルテができる → 「アプリ担当さん、お願いします」

A が注文書(苦手・目的・いまの力)とカルテを書き出し、B に声をかけます



💡 日本語と英語の割合(8:2~1:9)は A が診断から決めます。「難しい」と言えば日本語が増えます



STEP 4 アプリを作る(Bと一緒に)

いきなり作らない。設計案 → 骨組み → 仕掛け、の3段階

1

B が「設計の案」を見せる

足すものの的／1回の長さ／足すもの／仕掛け／見た目をどこまで残すか／新しいファイル名。もとのファイルは触りません

2

「これで作って」と答える → 段階1 骨組み

足す項目だけ並べる。色も仕掛けもまだ。「次へ進んでよいか」と聞かれたら「次へ」

3

段階2 仕掛け → ここで完成

答えを隠す、覚えた印をつける、など。作り込みはしない(仕上げは C の役目)

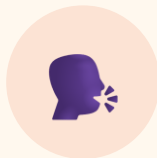
4

許可が出たら「許可」。できたファイルを開いて確認

ダブルクリックで開く。表示が変わらないときは Ctrl+Shift+R (Mac は Cmd+Shift+R)



✿ 各段階の終わりに「どこを見てほしいか」を2つ教えてください。そこだけ見ればOK



STEP 5 練習してふり返る(Aと一緒に)

ここが本番。アプリは「苦手を口に出す」ための道具

毎回、この順番(Aが進めます)

- 1 持ち越しの確認 前回「まだ」だったことを1つ
- 2 アプリで練習 開いて、口に出す。結果を A に伝える
- 3 直し 最大2つまで。文法用語は使わない
- 4 もう一度 直した形で、もう一度言う
- 5 まとめ 3行+次までの宿題を1つ

手ごたえは、その場で3回

- 言い直した直後:直った所を1つ、名指しで
- 練習の途中:前より変わった所を1つ
- 最後:できたこと1つ+まだのこと1つ(→カルテの持ち越しへ)

5回ごとに総まとめ

- 最初の診断2問を、もう一度そのまま出す
- はじめ → いま、で並べて変化を見る
- 消えた持ち越し/残った持ち越し/次の5回で狙うこと

 点数はつきません。「止まった場所」がいちばん濃い手がかり。同じ持ち越しが3回続いたら A が教え方を変えます



STEP 6 サポーターC が仕上げる

世界一の編集長。ほめません。直す所を3つまで

1

A が「見直し担当を呼びます」と言ったら、C を貼る

アプリができた直後に A が呼びます。「あとでいい」と答えれば、練習を先に始めてもOK

2

C の名前を決め、「何を見てほしいか」に答える

A 英語の中身／B できあがった学習ページ／C 両方。自分で気になる所があれば伝える

3

段階1 見直しの報告:良かった点1つ + 直す点3つまで

効く順に並び、「なぜ効いていないか」「どう直すか」が1行ずつ付きます

4

直す所を自分で選ぶ → 段階2 直す案 → 段階3 作り直し

「直して」と言った所だけ直します。作り直すときは新しいファイル名。もとは残る



✔ できたら、もとのページと作り直したページの両方を開いて見比べる



家でも続ける「合言葉」

3人は今日の会話の中にいます。家で同じ会話(タスク)を開いて、この一言から

A 「今日のレッスン」

カルテを思い出して、持ち越しの確認から再開

A 「カルテを見せて」

いまのカルテ(呼び名・目的・的・回数・持ち越し)を表示

B 「今日の分を追加して」

A が書き出した内容を、ページに書き足す

C 「もう一度見て」

前に指摘した所が直ったかを先に確かめる

A 「目的が変わった」

カルテを作り直してから続ける

家で続けるために

- 今日のフォルダ(アプリ2つ)はそのまま残す
- 今日の会話(タスク)は消さない。次回はそれを開く
- mawou.pages.dev は貼り直せば、いつでも最初から

🍀 やり直したくなったら、その担当の説明書をもう一度貼るだけ。「さっきやりました」とは言われません



困ったとき(午後の部)

だいたい「一言」で戻ります



担当が出てこない

「サポーター〇の説明書を
もう一度貼ってください」
→ 貼り直せばOK



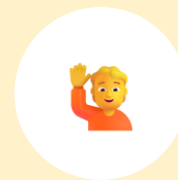
堂々巡りになった

B が「先に注文書を」と言っても
慌てない。A が診断を進めます。
「そのまま進めてください」



誰の発言か分からない

返事の先頭に名前がつく約束。
ついていなければ「名前を
先頭に書いて」と伝える



人に聞く

共催メンバーが回っています。
手を挙げるか、
リベのチャットに投稿

⚠ 公開(アップロード・デプロイ)は今日はいしません。サポーターも「公開してよい」と言うまで公開しない約束です



午後の時間割(目安)

13:30~15:30。進み具合はバラバラで大丈夫

13:30

はじめに

この資料でざっくり全体像(10分)

13:40

STEP 1~3

A と B を雇って、苦手を見つける(30分)

14:10

STEP 4

B とアプリを作る(30分)

14:40

STEP 5~6

練習してふり返る／C に見てもらう(30分)

15:10

見せ合い・おわりに

隣の人とアプリを見せ合う。合言葉の確認(20分)

🍀 STEP 3 まで行けば、家で続けられます。全部やり切らなくてOK

続きは、家でも 同じ会話から

名前をつけた3人は、今日の会話の中にいます。
次に開くときは「今日のレッスン」と打つだけ。

英語学習アプリを作る会 午後の部 | 主催:丸七(まるしち)

